

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎ 0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>

- 今別町文化賞・スポーツ賞授与ほか… 1
- 町の話題ほか…………… 2～3
- 議会広報…………… 4～6
- 診療所からのお知らせほか… 7
- こんにちは保健師ですほか… 8
- お知らせ…………… 9
- 町の元気な子どもたちほか… 10

功績をたたえ今別町文化賞・スポーツ賞・青森県民駅伝努力賞授与



平成25年今別町文化賞・スポーツ賞・青森県民駅伝努力賞授与式が1月23日、中央公民館において行われました。文化賞には、昭和53年4月町文化団体連絡協議会設立当初から会長を務めたほか、初代寺町町内会長を30年間務めるなど、長きにわたり、文化の発展に貢献された小鹿敏夫氏をはじめ、文化奨励賞、児童・生徒文化賞は、6名の方々が受賞し、スポーツ賞をはじめ、少年スポーツ賞、駅伝努力賞は、14組の個人及び団体が受賞しました。授与式では、相内利男教育委員長から、賞状と記念品が手渡され、阿部町長が「この記念すべき節目を契機に、今後も町のリーダーとして、また、他の模範として更なる活躍を遂げてほしい。」と、お祝いの言葉を述べ、受賞者を代表して、唐川恭代さんが、「両親の協力、先生方やコーチ陣の指導、地域のみならずのお陰で、このような輝かしい賞をいただくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、ますます文化・スポーツ活動に励んでまいります。」とお礼の言葉を述べました。

【文化賞】

- ◇小鹿 敏夫
町文化団体連絡協議会会長（S53年4月～H22年3月）
公民館運営審議会委員兼社会教育委員（H11年5月～H23年4月）

【文化奨励賞】

- ◇高木 麗奈（今別小学校2年）
平成25年度「農業ふれあい教室」作文・かべ新聞コンクール
最優秀賞「作文：おいしいさつまいもになあれ」
- ◇若佐 心音（今別小学校3年）
平成25年度「農業ふれあい教室」作文・かべ新聞コンクール
優秀賞「作文：わたしはピーマン」

【児童・生徒文化賞】

- ◇北山 希乃花（今別小学校2年）
第45回東郡児童美術展 版画の部 推奨
- ◇嶋中 幸太（今別小学校3年）
「命を大切に作る心を育むサクスレーター事業」
小学生の部 入選
- ◇唐川 恭代（今別中学校3年）
第12回青森明の星高等学校英語スピーチコンテスト
スピーチ（創作）の部 第1位

【スポーツ賞】

- ◇藤田 剛（一般）
・第13回青森県シニアバドミントン選手権大会 種目1部
40歳以上男子ダブルス第1位ほか
- ◇對馬 伸真（一般）
・第68回市町村対抗青森県民体育大会 町村の部
水泳競技30歳未満 50mバタフライ 第2位ほか
- ◇澤田 朱里（黒石高等学校3年）
・平成25年度東北高校選手権大会フェンシング競技
女子個人フルーレ6位 サブプル4位ほか

◇澤田 晃希（青森北高校今別校舎1年）

- ・第48回秋季青森県高校フェンシング選手権大会
男子個人エペ 第1位
- ◇川村 紘平（今別中学校3年）
・第23回東北少年フェンシング大会 中学生男子 第3位
- ◇青森北高校今別校舎 フェンシング部男子
・平成25年度東北高校選手権大会フェンシング競技
男子団体3位ほか
- ◇今別町ゲートボールクラブ
・第68回市町村対抗青森県民体育大会
町村の部ベスト8
- ◇今別町ソフトボールクラブ
・第68回市町村対抗青森県民体育大会
町村の部ベスト8
- ◇今別町バドミントンクラブ
・第68回市町村対抗青森県民体育大会
町村の部ベスト8
- ◇今別町バレーボールクラブ
・第68回市町村対抗青森県民体育大会
ママさんの部ベスト8

【少年スポーツ賞】

- ◇藤田 あさひ（今別小学校5年）
・第22回全国小学生バドミントン選手権大会出場
・第19回青森県小学生バドミントン大会
女子ダブルス5年生以下準優勝ほか

【青森県民駅伝努力賞】

- ◇川村 修平（青森高校3年）
3年以上選手として活躍
- ◇下山 祐生（八戸高専3年）
3年以上選手として活躍
- ◇川村 紘平（今別中学校3年）
3年以上選手として活躍



【写真左】1月14日現在の（仮称）奥津軽いまべつ駅前の工事状況です。写真中央部の建物が、駅舎入口タワー棟、左側が、屋内駐車場です。駅舎入口タワー棟が、奥に見える津軽海峡線の上りまで伸び、新幹線駅舎が現在の津軽海峡線の上り（高架線上部）にできる予定です。

また、現在みなさんが利用している津軽海峡線「待合室」と乗降口が少々離れていて、電車に乗り込む際に不便を感じる方もいると思いますが、北海道新幹線開業に向けて、ご協力をお願いします。

北海道 新幹線 工事状況

歳末大売出し大抽選会



特賞が出ますように・・・



ドッブ引きは最高

1月12日、今別町中央公民館において毎年恒例の「歳末謝恩大売出し大抽選会」が、商工会会長（本郷鉄男氏）の鳴らす鐘の合図と共に開催されました。会場には年初めの抽選会を楽しみながら、来場者の会話が弾んでいました。また、ぶ景品を見ながら、来場者の会話が弾んでいました。また、1回100円で行われたドッブ引きゲームにも、次から次とたくさんの方々が参加し、醤油や油・洗剤等を当てて喜んでいました。抱えきれないほどの景品を車に積み込む方もいて、お話を伺ったところ「お正月用品はなるべく地元で買うようにしています。年に一度の楽しみもあるので」と、答えてくれました。

東青地区交流 パタンク大会 in 今別



ボールの行方は？



みごとなフォームにうっとり

12月14日、東青地区交流パタンク大会が、今別町開発センターにおいて開催されました。この大会は、平成25年度地域スポーツ推進事業の一環として行われたもので、町内のパタンク愛好者を始め、外ヶ浜町からの参加者も含め、8チームで大会が開催されました。小学生から、年齢層の高い方々までが集い、会場内は声援と笑いで包まれ、ほのぼのとした雰囲気の中で行われていました。

東青地区社会教育関係者等研修会

12月19日、今別町中央公民館において東青地区社会教育委員連絡協議会・東青地区公民館連絡協議会主催による「東青地区社会教育関係者等研修会」が開催されました。人と人とのつながりを大切にし、豊かで住みよい地域社会を構築するために、どうあるべきか、社会教育に携わる人々の立場から考えることを目的とした研修会には、東青地区社会教育委員や関係者が出席し、講師に高橋哲子氏（『高橋竹山』の孫）を迎え「祖父 高橋竹山を語る」をテーマに講演が行われました。ビデオ上映も含め、幼少期から晩年の竹山を語る中で、人との関わりが随所に盛り込まれ、竹山の人柄がよく分かる、とても感動的な講演を聞くことができました。最後に「竹伸会」の方々の三味線演奏に合わせ、高橋哲子氏が民謡を披露し、会場のみなさんを魅了しました。



高橋哲子氏（左）と竹伸会の方々



高橋氏の民謡に聞き入る参加者

どんど焼き (今別八幡宮)



祝詞をあげる宮司と総代の方々



しめ縄を持ち寄り、祈祷をするみなさん



まっすぐに伸びる炎

毎年恒例の「どんど焼き」が、旧今別宮林署土場において、1月14日執行行われました。1年間私共を守ってくれた、おふだ・お守り等を天に戻すお祭りである「どんど焼き」には、しめ縄やお守り等を持ち寄って、たくさんの方が訪れました。水点下の寒風の中、宮司の祝詞が厳かにあげられ、神社の総代の方々や玉串奉納を行う中、参列者の方は神妙な面持ちで参拝していました。最後に火入れの儀を行い、宮司が着火すると、すべての願いが叶えられるかのように、炎はまっすぐに天に伸びていきました。

～町村から日本を元気にする～ 町イチ！村イチ！2014



寒さを吹き飛ばす勢いの大川平荒馬



達成感による満面の笑みのみなさん

1月11日・12日、全国町村会主催による「町イチ！村イチ！2014」が、東京都有楽町駅前地上広場で開催され、当町からは大川平荒馬保存会のみなさんが参加し、会場に訪れた多くの方々を魅了しました。会場には、毎年大川平荒馬に参加している東京都在住の方々も詰めかけ、久しぶりの再会に喜び合いました。大勢の観客を前に荒馬の演技が始まると同時に、会場と一体となった血が騒ぐような演技が披露され、観客の拍手がいつまでも鳴り響いていました。

特別警戒取締り出動式



出動式で誓いを立てるみなさん



安全運転の呼びかけをする指導隊員

12月17日、県下一斉特別警戒取締り出動式が開催されました。この活動は、年末年始の事件・事故の発生を未然に防ぐために、今別駐在所員をはじめ交通安全協会・交通指導隊員・交通安全母の会・防犯協会・防犯指導隊員・防犯婦人部員の方々が、「交通指導取締り活動」や「飲酒運転防止活動」を行っているもので、中央公民館において、出動式を行った後、街頭指導及び町内飲食店を巡回し、防犯の呼びかけや交通指導を行いました。

なもわ～も リニューアルオープン



店内で商品を選ぶみなさん

12月28日、地場産品等販売所「なもわ～も」が店舗を移転し、竜飛今別漁協「旧もじよくセンター」内に、リニューアルオープンしました。オープン当日は、朝7時の花火の合図で、年末朝市と同時に開催され、鮭やホタテ、筋子やたらこ、生花など、お正月用品を買い求める方々でいっぱいになりました。会場では、「奥津軽のしし牧場」提供による、いのししのもつ鍋がふるまわれ、温かいおもてなしが、とても喜ばれていました。

7時30分からは、景品付きポケットティッシュユマキが行われて大きな歓声が聞こえ、活気にあふれた町を感じることができました。漁協部門と、商工会部門が一緒になった販売所「なもわ～も」は、店内が拡張され、近隣町村のパンフレットが置かれる予定もあり、地元町民をはじめ観光客にも利用していただけるような施設に生まれ変わることでしよう。



寒空の中正月用品を買い求めるみなさん

今別町ふるさと大使 「田中哲也氏」講演会

12月21日、今別町中央公民館において、今別町ふるさと大使として、町のPRに尽力されている田中哲也氏の講演会が、開催されました。昭和46年今別町に生まれた田中氏は、北海道文理科短大在学中に、バイク事故により右足を切断。事故後に競技スキーを始め、パラリンピックのアルペンスキー競技の代表として、長野、ソルトレイクシティの2大会に出場。26歳の時に札幌体育専門学校でトレーニング法を学び、三浦雄一郎&スノードルフィンSSのインストラクターや吉田学園北海道体育大学の講師を務め、自転車、スキー、ゴルフなど様々なスポーツに取り組むマルチアスリートとして活躍しています。田中氏の活躍は、今別町民にはあまり知られていませんが、県外からは、講演やスポーツイベントへの出演依頼が殺到していて、今回の講演は忙しい中、スケジュールの調整をしていただき、開催することができました。「あきらめが最大の敵!!」をモットーに、時間を大切に、目標に向かって前進する田中氏のすさまじい生き様に、会場に訪れた方々は深い感銘を受けていました



義足の説明をする田中氏



田中氏の講演に耳を傾けるみなさん

おやこの食育教室

1月10日、開発センターにおいて食生活改善推進委員会主催による「おやこの食育教室」が、開催されました。子どもの栄養バランスのかたよった食事や不規則な食事の増加が問題になっている昨今、子どもの頃からの、バランスを考えて食べる習慣を身につけさせるために行った教室には、今別保育園児や保護者のみなさん、冬休み中の小学生等約60名が参加しました。食生活改善推進委員のみなさんが作った、にんじんご飯をおにぎりにしたり、高野豆腐やレンコンの入った酢飯を盛りつけしたり、ミルク寒天に果物をトッピングした後、バランスプレートに、各自がバランスを考えお料理を選びをし、会場に集まったみんなで食事を楽しみました。園児のみなさんも、自分たちが握ったおにぎりや、大好きなハンバーグやいわしの衣揚げ・野菜もみんな残さずにきれいに食べていました。



おにぎりは出来たかな?



バランスプレートにきれいに盛り付け

キクの会・高齢者世帯の集い

12月24日、今別町開発センターにおいて、「第4回キクの会」と「第1回高齢者世帯の集い」が、合同開催されました。合同開催は今年度初めての試みでしたが、約80名が参加し、とても賑やかな集いとなりました。町内のお年寄りの方々には久しぶりに会う人と懐かしそうに手を握り合ったり、血圧を測ってもらいながら保健師に健康相談をし、安堵する姿があちらこちらでみられました。午後からは、ボランテアの方々の作るお弁当をいただき、世間話に花を咲かせたり、カラオケや踊りを楽しんだり、会場は大いに盛り上がりしました。



歌に踊りに、楽しいひと時

第24回婦人芸能祭開催のお知らせ

お待たせいたしました!!

婦人芸能祭が下記のとおり開催されます。ご近所お誘いあわせの上お越しください。ご来場お待ちしております。

主催：今別町連合婦人会
後援：今別町教育委員会
日時：平成26年2月8日(土)
午前9時30分から
場所：今別町開発センター

とん汁の無料サービスも
ありますよ!



【問合せ先】今別町教育委員会
電話：35-2157

荒馬の里 活性化センター 禁煙のお知らせ

最近一段と声高に叫ばれている「禁煙」ですが、当町でも公共施設での禁煙が進められ、実施されています。

愛煙家の方々には申し訳ございませんが、たばこを吸わない方々への迷惑防止と施設の維持等から、平成26年4月1日から荒馬の里活性化センター施設内を「禁煙」といたしますので、ご協力をお願いいたします。



禁煙
NO Smoking

【問合せ先】産業建設課 産業
電話：35-3005

議会だより

発行/東津軽郡今別町議会
編集/議会広報委員会

No.178

第412回定例会が平成25年12月6日招集され、10日までの6日間の会期で開催されました。

提案された議案は、専決報告2件、平成25年度補正予算案4件、条例2件、人事案件3件、その他1件、あわせて12議案がいずれも原案どおり承認・同意・可決されました。

◆ 人事関係 ◆

○人権擁護委員の候補者の推薦について
吉田せつ氏（大泊75歳）
を推薦することに同意されました。

○人権擁護委員の候補者の推薦について
上野一子氏（大川平66歳）
を推薦することに同意されました。

○今別町教育委員会委員の任命について
相内利男氏（大川平74歳）
を任命することに同意されました。

◆ 専決報告 ◆

○平成25年度今別町一般会計補正予算
歳出にねぶた小屋トイレ等設備設置工
事6,000千円など追加し、歳出内で
調整したものの。

○平成25年度今別町国民健康保険特別会
計（診療施設勘定）補正予算
歳出に血液検査委託料3,164千円
など追加し、歳出内で調整したものの。

◆ 予算関係 ◆

○平成25年度一般会計及び特別会計補正
予算は可決されました。

補正予算の概要

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの	
一般会計	23,404	3,240,357	清川上流地区基盤整備促進事業 高齢者世帯生活支援事業委託料	15,700 1,837
国保（事業勘定）	増減なし	620,266	運営協議会費と予備費で調整	
国保（診療施設勘定）	増減なし	181,538	診療所費と予備費で調整	
介護（保険事業勘定）	44,782	479,198	介護サービス等諸費 保険給付費 特定入所者介護サービス費 予備費	40,755 5,412 2,530 △3,915

◆ 条例関係 ◆

○今別町後期高齢者医療に関する条例の
一部を改正する条例について
地方税法の一部を改正する法律の施行
に伴うもの

○今別町介護保険条例の一部を改正する
条例について
地方税法の一部を改正する法律の施行
に伴うもの

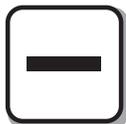
◆ その他 ◆

○青森県市町村総合事務組合を組織する
地方公共団体数の増加及び青森県市町
村総合事務組合規約の変更について
関係地方公共団体と協議する必要が生
じたため、議会の議決を要する事項を可
決する。

◆ 陳情・請願 ◆

○看護師等の夜勤労働改善・大幅増員を
求める陳情書 (採択)

○「介護保険制度改革」の中止を求める
意見書の提出に関する請願書 (採択)



富士 和比古 議員

○ 少子高齢化問題について

議員になって10年間、ほとんど毎年のようにこの問題を取り上げてきました。が、残念ながら答弁に値するようなもの一度も聞けません。私が何のために繰り返し取り上げるのか全く理解されていません。高齢化はわ

議会の動き

10月

- 3日～4日 東津軽郡議長会議長・副議長研修会（むつ市川内）
- 8日 特別委員会
- 21日 例月出納検査
- 25日 議会広報委員会
- 28日 正副議長・事務局長研修会（青森市）

11月

- 5日 特別委員会
- 8日 県知事を囲む行政懇談会（青森市）
- 9日～11日 上京（東北復興大祭典・鎌倉市視察研修・県選出国會議員表敬訪問）
- 12日 東津軽郡町村監査委員協議会実務研修会（青森市）
- 18日 国道280号バイパス建設及び整備促進期成同盟総会（外ヶ浜町）
- 20日 道州制に関する議員研修会（青森市）
- 21日 例月出納検査
- 22日 高規格道路建設道路整備促進青森県決起大会（青森市）
- 29日 東郡社会福祉大会（蓬田村）

12月

- 4日 議会運営委員会
- 6日 今別町社会福祉大会
- 6日～10日 第412回定例会
- 19日 例月出納検査
- 20日 東津軽郡議長会事務局職員研修会（青森市）



者の面倒みる割合が、将来は一人の若者に対し、一人の高齢者の割合になる時がくるのではないかと懸念されます。

質問 (1)専門のプロジェクトチームを作ることや何度も進言してきました。町長はじめ担当職員は、この問題にどのように取り組むのか伺いたい。

町長

少子高齢化問題については、議員が言われるとおり、わが町に限らず、社会全

体問題となっています。

高齢化率は今年2月の県のまとめで、44・64%と県内で一番高くなっています。このように高齢化が進む状況の中で、

この問題の取り組みについては、当然ながら、国レベルでの取り組みも必要となります。町では、安心して子育てができる環境づくり、住み慣れた町で生涯過ごすため、高齢者が安心して健康な生活を送れるようにすることなど、生活環境の整備が解消に必要なことと考えています。

そのため、今年度から実施しています、中学生までの医療費の無料化、妊婦への風しん予防接種費用の助成、福祉灯油助成、そして、12月からは救急情報キット安全サポート事業を実施し、福祉除雪事業は今議会へ提案しています。

今後も国・県の補助事業などを利用しながら、一層の整備に努めてまいります。

また、専門のプロジェクトチームを作り、取り組むということですが、現在の職員数や新幹線対策の課題があり、今後組織全体の見直しを図ります。

これからも住みよい町づくりを進めてまいりたいと思いますのでご理解とご協力をお願いいたします。

質問

(2) 小学校の今後入学児童数の最高が7人で、最低が2人ということ

とで、このままでは学校運営は成り立たない状態になるが、今後の方針を伺いたい。

教育長

現在、今別小学校の在籍児童数は82名で、来年度の入学予定児童数は7人を予定しています。

平成27年度以降の入学予定者につきましては、議員のおっしゃるとおり、最高で7人、平成29年度は2人の予定であり、入学予定者も一桁台となりました。

そのような状況の中、教育委員会におきましても今後の方針については、差し迫った緊急な課題として認識し、現状や今後の推移などについて、児童の保護者や就学前のお子さんをもつ方々も含めて、状況説明や意見を伺うための協議機関を設置し、今後の方針を決定していきたいと思っております。

○漁業者の生活を守るために

漁業不振が長期化しており、追い討ちをかけるように燃料の高騰が続く、生活もままならない状態です。昆布、うに、小女子と全くの不漁続きであり、禁漁にしたほうがいいと言われながら無理してナマコ漁だけを進めている状況であります。一本釣りは全くといっていいほど漁がなく、燃料代にも事欠く状態であると嘆いています。漁業者の安定した生活を守るために手を差し伸べていかなければなりません。

質問

(1) この問題に関し、町長の見解を求めます。

町長

今年度の残り事業として、投石事業も

予算化していますので、順次予算執行するように連絡とりながら進めています。詳しいことは、担当課長より説明いたします。

産業建設課長

近年、不漁の原因の一つと考えられているのが、地球温暖化等による環境の変化であります。海水温度が上昇して磯焼けや、餌となる動物プランクトン等が減少し、魚介・海藻類等の水産資源が枯渇し漁業不振が続いています。

町では、県や関係機関と協力しながら、漁協及び漁業者の取り組みを支援し、種苗の放流事業や環境整備事業を行い、漁業資源の回復と増殖に努めて参りました。

国でも、今年度から、漁業者の高齢化・漁村人口の減少等により水産業に関する問題が深刻化することに伴い、地域の取り組みを支援する水産多面的機能発揮対策事業を創設しております。この事業は、海の環境保全を支援する事業で町でも漁協主体で今年度から実施することになりました。

主な事業としては、一つ目がウニの密度管理で磯焼けの藻場から海藻の生産力の高い他の藻場へ移動させる。二つ目が、海藻の種苗投入で海藻の生産力が衰えた藻場の機能維持、回復を図る。三つ目が、岩盤清掃で海藻の着生や発芽を促進するための岩盤清掃。四つ目が種苗放流で環境保全のための藻類、魚介類の放流。五つ目が海洋汚染等の原因となる漂流、漂着物、堆積物処理で砂浜、海底、

沖等の廃棄物等の処理などで、この事業

を平成25年度～平成27年度まで3か年の計画で行う予定であります。

このような事業は、自然条件に影響されませんが、藻場の機能を今後も永続的に利用していくためには、地道に息の長い取り組みを続けていくことが重要と考えます。町としても、この取り組みを支援しながら、魚の資源保護、増殖の育成事業を進め、漁家の所得向上に努めていきたいと考えていますのでご理解をお願いします。

富士直治 議員

○町営バスの外ヶ浜町との相互乗り入れについて

2年ほど前から、旧三厩村と旧蟹田町を結ぶ外ヶ浜町の循環バスが、今別町内を通らず、蟹田、三厩に用事がある方は、大変不便を感じていましたが、次年度から改善されると地区説明会において説明がありました。

質問

(1) 外ヶ浜町の循環バスの運行経路に変化はあったのか。

町長

外ヶ浜町で運行しているバスの中で、三厩地区から外ヶ浜中央病院へ運行しているバスについては、先般、外ヶ浜町の森内町長と話し合い、来年4月1日から今別町の町民も利用できるよう協議を進めています。

あとは、今別町の町民が利用した場合の料金など細部について、事務レベルで調整することを指示しています。

(2) 今別町の循環バスの運行経路に変化はあったか。

町長

現在の運行経路等について、町民の方々から様々な意見や要望が出されています。

特に、お年寄りが多くなっている現在、買物時におけるバスの停留所の改善あるいは、三厩地区住民の今別町の病院等の利用を考慮し、現在二ツ石で止まっているバスを三厩駅まで延ばす件については、先般外ヶ浜町の森内町長と協議をいたしています。

来年4月1日から運行を実施するため、担当者に外ヶ浜町との調整を指示しております。

○今別浄水場について

前町長時代に、今別簡易水道事業について、議会に説明がありました。その内容は、この事業は、過去に水道管の更新工事をした時の負債があり、それを解決しない限り新しい事業ができなかった。しかし25年には完済し、やっと浄水場の更新、老朽化対策ができるというものでした。新浄水場にするための調査費として、1,000万円の予算を計上しています。

質問

(1) 浄水場の老朽化対策について

産業建設課長

平成19年度から施設整備の工事に着手する計画でしたが、水道事業会計の累積

赤字と町の財政状況から平成24年度以降に繰り延びています。

累積赤字も今年度で解消する見込みから、今後の水道施設整備計画は、今年度中に水源調査のボーリングを行い水質、水量等のデータ収集を行います。そして平成26年度中に変更認可を申請し、認可を取得したいと考えています。平成27年度からは、工事に着手し、平成29年度までの3か年で地下水の取水施設の整備と大川平から二股間、山崎から大泊間の本管接続をして、今別浄水場から全地区へ供給する計画としています。

○広域消防今別分署について

過去に、当町と外ヶ浜町で今別分署の職員数の割合や経費負担比率について協議を重ねたが、平行線でありました。しかし、阿部新町長となり、協議に進展がみられたという話を聞きました。

質問 (1)今別分署についてどういった変化がみられたのか。

町長

現在の正職員の割合は、今別町9名、外ヶ浜町9名で18名体制となっています。今年度の退職者が2名あり、さらに中途退職者が1名ありましたので、来年度4月1日から3名を採用しなければなりません。今別町が6割、外ヶ浜町が4割の負担割合となっており、この負担割合と職員構成に差が生じています。このため、外ヶ浜町の森内町長と協議を重ねた結果、来年度採用の職員3名を今別町で

採用し、広域消防事務組合に派遣することに決まりました。

このことにより、今別町10人、外ヶ浜町8人で、今別町が55%、外ヶ浜町が44%の割合となり、ある程度は正されました。さらに、後年度の退職者の状況を見ながら適正な割合にすることで話をすすめています。平成27・28年で、外ヶ浜町と協議しながら、徐々に正当の正規職員24人体制にしたいと考えています。

入江 奨 議員

○福祉除雪事業について

質問 (1)25年度補正予算が決まれば、昨年並みに社協に委託することになるとは思いますが、昨年度の実績について報告を求めます。

(2)この実績報告の中で課題はないか。あるとすれば何か。

(3)福祉除雪を担当する嘱託職員を募集するのに、この補正予算が決まらないと募集ができないわけで、前年度からみると1ヶ月遅くなっています。早期に決めるべきではなかったか。

町民福祉課長

質問の実績についてですが、昨年は、緊急雇用創出対策事業の中で、「高齢者世帯等生活支援事業」として、社会福祉協議会への委託事業を行いました。雇用者は、4人、雇用期間は12月～3月まで、作業実績は、延べ除雪回数457回となっています。次に課題についてですが、社会福祉協

議会に確認したところ、特にないとのことでした。

最後に事業の開始時期ですが、昨年と比べると、2週間程度遅れることとなりますが、降雪の状況等を勘案しても十分対応できる時期と考え、今補正とさせていただきますので、よろしくお願います。

○来年度からの給食費について

質問 (1)来年4月から小学生卒業するまで給食費を無料化する意思があるか。

(2)阿部町長は、保育園の保育料を半額補助に財政と相談しながら子育て支援を町として考えていると述べています。今後の見通しについて答弁を求めます。

町長

(1)と(2)につきましては、関連性がありますので一括で答弁します。私は小学校から中学校まで給食費を3割負担軽減と保育料についても3割負担軽減することで新年度予算を考えています。それ以上の負担軽減は、財政状況によりますのでご理解ください。

○漁業の振興について

質問 (1)最近漁業振興に関する国の補助事業(10割国負担)が3年事業計画にきまつたそうですが、この事業と計画の内容と事業費に

ついて答弁を求めます。

産業建設課長

3番福士和比古議員にも説明しましたが、この事業は水産多面的機能発揮対策事業で環境保全・改善を主とする事業であります。

今年度の計画の内容はウニの密度管理と海洋汚染等の原因となる漂流、漂着物、堆積物処理で事業費が300万円程度となっています。平成26年度から平成27年については、ウニの密度管理、海藻の種苗投入、岩盤清掃、種苗放流の事業計画となっています。事業費は、まだ確定していませんが今年度と同程度を見込んでいます。

質問

(2)各地区の漁業関係者から、海の投石について要望があり、海藻類が付着する石が海底にないため、わかめやもずくなどが育たないということでした。その石を波止場に運んでいただければ、船にのせて投石するのは、漁師仲間がやるので、力を貸してほしいということですが、質問(1)の事業費が使えるのか答弁を求めます。

産業建設課長

平成23年度から毎年、町単独事業でもなく漁場造成のため、投石と転石を漁協で行っています。今回の事業の中で海藻の種苗投入の事業があり、藻場の機能維持、回復とあります。直接の投石は対象となりませんが、種

苗の挟み込んだロープの投入、石にネットを巻き付けたものを投入、種子とおもりの石・土が入っている袋を投入と様々な再生の取り組みがあります。当町の自然条件にあったものの選択となりますが、海藻類の育つ条件は達成されるものと考えます。

質問

(3)浜名地区の漁港で、船が出入りする漁港の海底に砂がたまりすぎて、漁船の出し入れに支障をきたしているという。砂を除去することが可能か。

産業建設課長

ご質問の浜名地区漁港内の砂の除去については、東青地方漁港漁場整備事務所にお願しており、平成26年から県単事業で実施することになっています。

編集後記

新田次郎著の「アラスカ物語」モデルとなった日本人、フランク安田。宮城県石巻出身である。アラスカに渡り、原住民エスキモーと生活を共にし、飢餓と疫病の流行のため、エスキモー村は崩壊の危機に瀕する。滅亡の淵に立ったエスキモーの一族を引き連れて険しい山脈を越え、苦難の末にアラスカ内陸部の新天地バー村に移住させ、絶滅から救った彼は「アラスカのモーゼ」と呼ばれた。どん底に墮ちたときこそ人間の真価が問われると言う。明るい町、住みよい町を築くために、フランク安田のような責任ある偉大なリーダーに学びたいものである。 議会広報委員長 福士 和比古



今別診療所からの健康だより

冬に流行しやすい、マイコプラズマ肺炎、 感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス）について

◇マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ菌に感染することで起こる肺炎で、最近患者数が増加傾向にあります。若い人たちの間で流行が観察される肺炎であることから、非定型肺炎（異型肺炎）と呼ばれています。成人までに97%がマイコプラズマの感染を受けており、大人ではまれに何回も感染することがあるとされています。晩秋から早春にかけて罹患率が高く、罹患年齢は、幼児期、学童期、青年期が中心です。

症状：熱発、しつこく乾いた咳が特徴、特に夜間に、しつこく長期にわたって咳（せき）が続く事が特徴

感染経路：飛沫（ひまつ）感染、咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込むことで感染します。

診断：胸部X線、血液検査（抗体検査）などで診断可能です。

治療：マイコプラズマ肺炎に効く抗菌薬（マクロライド系抗生剤、ニューキノロンなど）を服用していただきます。

マイコプラズマ肺炎の予防：マイコプラズマ肺炎は大部分が抗菌薬投与で治りますが、予防が重要です。特に流行している時期には、人込みを避けて、十分な睡眠と栄養・うがい・手洗いをしましょう。

感染性胃腸炎：ノロウイルス、ロタウイルス
冬季の前半はノロウイルスによる胃腸炎が多く、冬季の後半はロタウイルスによる胃腸炎が多いと言われています。ノロウイルスによる集団感染は、日本のみならず、世界各地の学校や養護施設などで散発的に発生しています。

◇ノロウイルスによる胃腸炎

ノロウイルスは魚介類に多いというイメージがあるかもしれませんが、肉類、野菜類の摂取による感染（食中毒）も少なくありません。

症状：下痢（激しい水様便）、吐き気、嘔吐、発熱などが特徴で、乳幼児は嘔吐、成人は下痢の症状が多いようです。一般的には、重症化はせず、通常は3日以内で回復しますが、体力の弱い幼児や老人は死亡する場合もあるので注意が必要です。（特に発症初日は症状が激しいので要注意です。）

感染経路：感染者の嘔吐物、便に触れることにより、経口的に感染します。また、ウイルスの飛沫が空中散布されることで集団感染に至るケースも認められます。

診断：症状などでほぼ診断可能ですが、ノロウイルス迅速検査が普及してきました。ただし、3歳未満か、65才以上の患者さんでないと保険適応になりません。

治療：現在このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。このため、通常、対症療法が行われます。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行い、脱水症状がひどい場合には、点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいといわれています。（未だに賛否両論がありますが）

感染予防：他のウイルスと異なり、消毒用アルコールも効きません。何といても徹底した手洗いにより、物理的に流してしまうことが重要です。手洗い後も、清潔なタオルで拭くようにし、共用タオルの使用は避け、集団生活の場では、ペーパータオルを使用するようにしましょう。食中毒予防としては、85℃以上、1分間以上の加熱によって感染性を失うと言われていいますので、特にカキ、二枚貝などの食品は中心部まで充分加熱することが重要であり、これらを扱った包丁やまな板、食器などを、そのまま生野菜など、生食するものに用いないよう、調理器具をよく洗浄、塩素系漂白剤（キッチンハイターなど）による消毒をすることも大事です。

◇ロタウイルス

このロタウイルスも非常に感染力が強く、乳幼児に多いとされています。大人にも感染しますが、ノロウイルスに比べると、大人ではあまり症状が重くないことが多いようです。

症状、治療、予防策は、ノロウイルスと同様ですが、ロタウイルス胃腸炎は、嘔吐で始まり、発熱（半日～2日程度の期間）や腹痛の後、下痢が始まります。ノロウイルス感染に比較して、発熱の頻度が高く、乳幼児では重症度が高いといわれています。白色水溶性下痢になることが多いのが特徴で、「白色便性下痢症」、「小児仮性コレラ」、「白痢」と呼ばれることもあります。



いずれにせよ、これらの感染症はインフルエンザ同様、予防することが最も重要です。

徹底した手洗い：外出後やトイレの後はもちろんですが、仕事や、家事の合間にも、手洗いを習慣化させましょう。腕時計や指輪などは外して、流水で市販の石鹸でいいので十分泡立て、最低でも20～30秒洗います。また濡れた手は、湿風やペーパータオルで乾燥させるのが理想的ですが、せめて、きれいなタオルで十分に水分を拭き取って下さい。できればその後、アルコール消毒をすると効果が高まります。手洗いが終わったら、その場でうがいをするようにしましょう。

生活環境に配慮する：室内の湿度を上げ（ウイルスは湿度を嫌います）、十分な睡眠、栄養、休養をとり、ストレスの低減を心がけ、免疫力をアップさせるようにしましょう。

飛沫予防策：インフルエンザやマイコプラズマ、場合によってはノロウイルスも含め飛沫感染する病原体に対しては、マスクを着用することが肝要です。ただ、市販のマスクも多種多様ですので購入の際は注意してください。

咳エチケット：咳やくしゃみをハンカチや上腕、マスクなどで飛び散らないようにして、感染拡大を防ぐために最低限のマナーを心がけましょう。



南の島で国際交流・野外活動体験（日本全国の小学生） ちびっこ探険学校ヨロン島 参加者募集



公益財団法人国際青少年研修協会（内閣府公益認定等委員会認定）では、『第38回ちびっこ探険学校ヨロン島（ヨロン・アドベンチャー・スクール）』の参加者を全国より募集しています。この事業は、沖縄に近い南の島、ヨロン島のサンゴ礁の海と美しい自然の中で、全国から参加する仲間との共同生活（民宿）や様々な野外活動（海水浴、イカダ作り&イカダこぎ、ハーレー船大会、さとうきび刈り&絞り、洞窟探検、野宿体験等）を通して友達作りの楽しさを知り、お互いに協力し助け合い、積極的にチャレンジする心を養います。また在日外国人小学生と活動・生活を共にすることで言語や習慣を越えて友情を深め、国際感覚を身につける第一歩とします。今度の春休みは、日本全国から参加するたくさんの日本人や外国人のお友だちと一緒に思い出に残る楽しい体験をしに暖かな南の島『ヨロン島』に行きませんか？

期 間：平成26年3月26日（水）～4月1日（火） 6泊7日

場 所：鹿児島県大島郡与論町

定 員：日本人小学生200名 在日外国人小学生100名

締切り：平成26年3月5日（水）（申込み先着順）

※説明会・出発地・費用等についての詳細は、公益財団法人国際青少年研修協会にお問い合わせください。



【資料請求・お申込み・お問合せ】

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-15-4 第3花田ビル4階

電話：03-6417-9721 F A X：03-6417-9724

E-mail info@kskk.or.jp homepage <http://www.kskk.or.jp>

青森北高今別校舎 フェンシング入賞

昨年11月、むつ市において第48回秋季青森県高等学校フェンシング選手権大会が開催されました。

現在今別校舎のフェンシング部員は2名ですが、普段の練習の成果を発揮し、2名とも上位入賞を果たしました。

おめでとうございます！

◇男子個人エペ

第1位 澤田 晃希 (1年)

◇男子個人フルーレ

第2位 澤田 晃希 (1年)

第5位 唐川 典恭 (2年)



こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

こころの健康相談のお知らせ

冬のうつ病

冬になると、特に気分が沈むという経験はありませんか。これは、季節性うつ病と言われ、冬になって日照時間（お日様の出ている時間）が短くなることで、ホルモン分泌のバランスが崩れ、体内時計が狂うことで、うつ病のような症状が出るというものです。（症状：寝ても寝ても眠い、食欲はあり特に甘いものをいつも以上に食べ体重が増える、不安感やイライラ感がある、ささいなことも面倒、朝起きれないなど）また、雪国の特徴として「寒い」「天気が悪い」「雪が降ると大変だ」などという、ネガティブな気持ちがうつ病を加速させるとも言われます。春になるとたいていは、症状が改善するのですが、冬に何年もそのような状態になる方は、通常うつ病に移行することも多く、注意が必要です。

- ・何となくやる気がでない
- ・物事に集中できない
- ・学校に行けない
- ・気分がゆううつ
- ・人に会いたくない
- ・家庭内暴力
- ・眠れない
- ・仕事に行けない
- ・急に物忘れがひどくなった
- ・病気についての不安や悩みがある



このような気持ちを自分だけ、家族だけで、解決するのは難しいものです。専門医と保健師がお話をお聞きし、必要であれば対処の方法をアドバイスいたします。このような悩みをお持ちの方、お気軽にご利用ください。また、家族の方からの相談もお待ちしております。

- 日時：平成26年3月6日（木）
- 受付時間：13時～14時
- 相談時間：14時～15時
- 場所：今別町開発センター 2階研修室
- 担当医師：青森県立保健大学健康科学部 教授 大山 博史氏
- 相談料は無料です
- 相談を希望する方は事前に町民福祉課の保健師までご連絡ください。
- 【問合せ先】町民福祉課 電話：35-3004



赤十字活動資金に ご協力ください

～平成26年度の社員増強・社資増収運動がはじまります～

東日本大震災からもうすぐ3年が経過しますが、被災者の多くが着実に生活再建の歩みを進めている一方で、いまだ仮設住宅などの過酷な避難生活を余儀なくされている方も数多く、決して支援の手を緩めることができない状況にあります。また、昨年国内外で自然災害が多発し、多くの尊い命が奪われましたが、ご支援いただいた社資は、東日本大震災被災者の長期的な支援はもとより、こうした新たな大規模災害の発生に備えての災害救護体制の強化や地域住民の防災意識の普及に役立っています。

その他、日本赤十字社では、地域の奉仕活動を担う赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成、救急法等講習会の普及など多岐にわたる活動を展開していますが、これらの赤十字活動の財源のほとんどがみなさまから寄せられる社資でまかなわれています。

日赤青森県支部では、2月1日より、平成26年度に実施する赤十字活動の資金確保のため《赤十字社員増強・社資増収運動》を実施しています。日本赤十字社が果たすべき役割と増強運動の趣旨をご理解いただき、赤十字活動の普及・推進のため、各町内の役員の方々への訪問の際は、町民のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

【問合せ先】

〒030-0681
青森市長島1丁目3番1号
日本赤十字社青森県支部 組織振興課
電話：017-722-2011



日本赤十字社青森県支部今別町分区分
担当課：町民福祉課 電話：35-3004

～税務署からのお知らせ～

不動産取得税の軽減制度

不動産取得税は、土地や家屋の売買・贈与・交換などによる取得に対して課税される県の税金です。

住宅を新築したり、中古住宅を取得した場合等で、一定の要件に該当すると、申請により土地及び家屋に係る税額が軽減される制度があります。詳しくは、東青地域県民局県税部課税第2課までお問い合わせください。



【問合せ先】東青地域県民局 県税部 課税第2課
電話：017-734-9973

消費税及び地方消費税が変わります

平成26年4月1日から消費税及び地方消費税の税率が8%に引き上げられます。また、今回の引上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転嫁を確保するため、消費税転嫁対策特別措置法によって、次のような措置が設けられました。

- 1 総額表示義務の特例
税込価格であると誤認されないための措置を講じていれば、税込み価格による表示をしなくともよいとする特例 [表示例：100円（税抜）]
- 2 転嫁拒否等に関する措置
事業者間の取引で、税率の引上げ分の転嫁を拒んだり、チラシや店頭で転嫁を阻害する表示（例えば、「消費税は転嫁しません」等の表示）を規制する措置。
詳しくは、国税庁ホームページ（www.nta.go.jp）をご覧ください。

国民年金保険料の一部免除が承認された期間の保険料納付について

国民年金保険料の一部免除制度は「一部納付が必要な保険料」を納付しないと、免除期間ではなく「未納期間」となります。せっかくお手続きをされた期間ですので、「一部納付が必要な保険料」の納付をお願いいたします。

例えば保険料を1カ月分全額納付した場合の年金額に対して、一部納付した場合と比較すると、次のようになります。(1カ月分での比較です。)

全額納付(15,040円)	全額納付の場合の年金額
4分の3免除(3,760円)	8分の5が年金額へ反映
半額免除(7,520円)	4分の3が年金額へ反映
4分の1免除(11,280円)	8分の7が年金額へ反映

※お手元に納付書がない場合やご不明な点は青森年金事務所までご連絡下さい。

【問合せ先】青森年金事務所 電話：017-734-7499



スポーツ安全保険に加入しませんか？

スポーツ・文化・ボランティア活動など幅広く適用されます。
☆5名以上の団体でご加入ください☆

対象となる事故	●団体活動中の事故 ●往復中の事故(自動車事故による賠償責任は適用外)
補償内容	傷害保険(通院、入院、後遺障害、死亡)・賠償責任保険・突然死葬祭費用保険
加入受付期間	平成26年3月1日から平成27年3月30日
保険期間	平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時までです。
掛金	1人年額800円～11,000円(団体の活動内容・年齢などによって異なります。)

スポーツ安全協会青森県支部

〒038-0021 青森市安田近野234-7 (公財) 青森県体育協会内
電話：017-782-6984

(電話受付時間は平日午前9時00分から午後5時00分まで)
※詳しくは、ホームページをご覧ください。

http://www.sportsanzen.org

「多重債務相談窓口」のご案内

東北財務局青森財務事務所では、多重債務相談窓口を設置しております。相談員が借金の状況等をお伺いし、必要に応じて弁護士等の専門機関に引き継ぎを行います。相談は秘密厳守・無料です。お気軽にご相談ください。



【問合せ先】

青森市新町2-4-25 青森合同庁舎3階 青森財務事務所
相談専用電話：017-774-6488
受付：月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く)
午前8時30分～午後5時15分

平成26年度入校生追加募集 青森県立青森高等技術専門校

平成26年4月入校生の普通課程(若年者コース)追加募集を下記のとおり実施します。

☆訓練科名及び募集定員

・電気工学科 6名 ・環境土木工学科 17名

☆訓練期間

両課とも2年(平成26年4月～28年3月)

☆応募資格

高等学校卒業生(見込含む)又は、同等以上の学力を有する者

☆願書受付期間

平成25年12月13日(金)～平成26年2月13日(木)

☆試験日

平成26年2月20日(木)

【問合せ先】電話：017-738-5727

平成26年度賃借料及び農作業標準労賃表

今別町農業委員会

○農作業標準労賃

☆標準賃借料(10aあたり)平成26年4月1日から

農地の区分		賃借料の標準額	地域名
田	町内統一	8,000円	全地域
畑	町内統一	2,000円	全地域

☆参考賃借料(10aあたり)平成26年4月1日から

農地の区分		賃借料の標準額	地域名
牧草畑	町内統一	1,000円	全地域

○農作業標準労賃

【注】この農業労賃及び農作業受託料金は、取り決めの際の目安となるものであり、各地域により事情があると思われるので、柔軟な対応をお願いします。

1. 農業労賃

作業名	単位	標準額		備考	
		26年度	25年度		
水田作業	苗取	1日	5,320円	5,240円	1日当たり8時間を標準とする(賄い抜き)
	田植	1日	5,320円	5,240円	
	除草	1日	5,320円	5,240円	
	稲刈	1日	5,320円	5,240円	
	脱穀	1日	5,320円	5,240円	
	病虫害防除	1日	5,320円	5,240円	
	その他の作業	1日	5,320円	5,240円	
畑作業一般	1日	5,320円	5,240円		
果樹作業一般	1日	5,320円	5,240円		
牧草刈取(モア)	10aあたり	3,000円	3,000円		

【積算根拠】

青森県最低賃金
平成25年10月24日施行 1時間665円
665円×8時間=5,320円

2. 農作業受託料金

作業名	単位	標準額		備考	
		26年度	25年度		
耕起(トラクター)	10aあたり	4,500円	4,500円		
水田植	苗もち	10aあたり	27,000円	27,000円	
	苗なし	10aあたり	6,000円	6,000円	
水	荒代かき	10aあたり	3,500円	3,500円	
代かき	10aあたり	3,500円	3,500円		
荒代同時仕上げ	10aあたり	6,000円	6,000円		
牧草作業一式	10aあたり	15,000円	15,000円		
水田刈取・脱穀	バインダー	10aあたり	7,000円	7,000円	結束ひもを含む
	ハーベスタ	10aあたり	6,000円	6,000円	
	コンバイン	10aあたり	12,500円	12,500円	補助員がつかない場合(グレンタンク付き)
		10aあたり	10,000円	10,000円	補助員がつく場合
		10aあたり	2,000円	2,000円	結束の場合(割増)
生乾燥	1俵あたり	両者間で決める			
補助乾燥	1俵あたり	両者間で決める			
畑耕起	平坦地	10aあたり(トラクター)	5,000円	5,000円	
	傾斜地	10aあたり(トラクター)	6,000円	6,000円	
	うね上げ	10aあたり(トラクター)	5,000円	5,000円	

イ マ ダ ス

まちの行事予定

(2/1~3/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

2/1 (土)	バルーンアート教室 (中央公民館)	教育
2 (日)	今別町消防団出初式 (開発センター)	総務
3 (月)	人権・行政相談 (中央公民館)	総務
8 (土)	第24回婦人芸能祭 (開発センター)	教育
19 (水)	救急法講習会 (開発センター)	社協協
28 (金)	第5回キクの会・第2回高齢者世帯のつどい	社協協
3/2 (日)	青森北高校今別校舎卒業式	教育
5 (水)	県立高校前期選抜試験	教育
10 (月)	今別中学校卒業式	教育

立告たんもたんた方表でちうの会を12
つ会のの発でがでをのきと考なし月の参
たがで顔表すほす向時るよ練えさんまの観
ら5よをしま次てそてはう習てんした。日
う年か見まにくし発、にして文に分。初
れ生つてしに5れてて保んををか初
しのみでる5生のの保き者ばす書りめ修
いさ私く年みつ者での護たのみますまやて間
なさんた顔のなれのでなしらさくく行の保の
のちでみさしみよさとた伝保の
役のてなんかなかん。発。え護報
に報きさへつさつの発表きよ者告



① 相内 吏那
② 二股
③ 看護師

町の元気な子ども達
「今別小学校6年生」
①氏名 ②地区名 ③将来の夢

今別町商工会からのお知らせ 合格おめでとう

★第171回全国商工会連合会珠算検定合格者

7級	北山悠太 (今別小 4年)	太田慶吾 (今別小 4年)
	成田祥佳 (今別小 4年)	本郷翼 (今別小 4年)
	赤坂大地 (今別小 4年)	

毎年2月は 相続登記はお済みですか月間

司法書士会では、毎月2月を「相続登記はお済みですか月間」と定め、相続登記の手続きを促す啓発活動の一環として、相続登記に関する無料相談会を実施しております。

相続登記は期限が定められていないため、一般に手続きが遅れがちで、いざ売るといふ場合や担保に入れて融資を受けようとする場合などに支障をきたすことがあります。長い間放置されてしまったことで、さらに相続が発生して新たな相続人が出現したりすると、権利関係が複雑になって、時間も費用もかさむことがありますから、相続登記は早めに終わらせておくことが重要です。さらに、登記の手続きも個々の事情によって千差万別ですから、専門家にご相談して下さい。

- 1. 相談内容 相続登記
- 1. 相談期間 2月1日～2月28日 (土・日・祝日は除く)
- 1. 相談場所 青森県内の各司法書士事務所
※ご相談にスムーズに対応させていただくために、事前に各司法書士事務所へご相談のご予約をお願いします。
- 1. 費用 初回相談無料 (2回目以降や具体的な手続きは有料です)

【問合せ先】

〒030-0861 青森市長島3丁目5番16号
青森県司法書士会 電話：017-776-8398



融雪溝の蓋を忘れずに！

融雪溝を使用した後、そのまま開けっ放しの箇所が、時々見受けられます。「あとで」と思わずに「すぐに」蓋を閉めるようにしましょう。

今別町ふれあい福祉センター 2月の相談日のご案内

一般相談、日常のあらゆる心配ごと・・・など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談	2月12日(水)・26日(水)	10:00~11:30	生活一般相談員
電話相談	毎週月曜日～金曜日	10:00~17:00	社協職員

※土、日及び祝祭日は対応できませんのでよろしくお願い致します。

専門相談 専門相談員による相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
法律相談	借金、離婚、財産相続、土地登記に関する相談	2月10日(月)	13:30~15:30	司法書士

※相談を予定している方は、事前に予約をお願いします。当日の来所は電話でお知らせ願います。また、今月の専門相談は法律相談だけです。

【問合せ先】今別町社会福祉協議会 電話：35-3081

戸籍の窓口 (12月1日から31日までの届出分)

お悔やみ申し上げます

小鹿庄三郎 (81)	村元
平山つる (89)	大川平
三上つせ (97)	大川平
田邊はる (90)	今別

ご結婚おめでとう

(小林 悟 (浜名)
(三浦 ひとみ (青森市)

今別の姿
(平成25年12月31日現在)
面積 125.28km²
人口 3,110人 (-6)
男 1,466人 (-2)
女 1,644人 (-4)
世帯数 1,527 (-6)
()内は前月比

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課へ申し出下さい。また、東奥日報についても同様申し出下さい。

編集後記
海峽線津軽今別駅前広場に、駅舎入口タワー棟と屋内駐車場が、姿を現しました。実際に大きな建物を目の前にすると、「本当に新幹線が通るんだな」という思いが、ひしひしと湧いてきます。二股地区を通る機会がありましたら、車のスピードを緩めて、ご覧になってください。(くれぐれも事故を起こさないように...) 県内でも、インフルエンザや、ノロウイルスが流行の兆しにあるようですが、町民の皆さまの健康管理は大丈夫ですか？先日、健康番組で手洗いの方法を報道していましたが、「指を一本ずつ、指の間を丁寧に、手首も絞るように洗って下さい。」と、話していました。インフルエンザやノロウイルスに感染して苦しい思いをする前に、完全予防を心がけましょう。

広報担当 (おへら)